

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 11-000297

(43)Date of publication of application : 06.01.1999

(51)Int.Cl.

A47L 13/19

A41D 19/00

A47L 13/17

(21)Application number : 09-170952

(71)Applicant : SHISEIDO CO LTD

(22)Date of filing : 12.06.1997

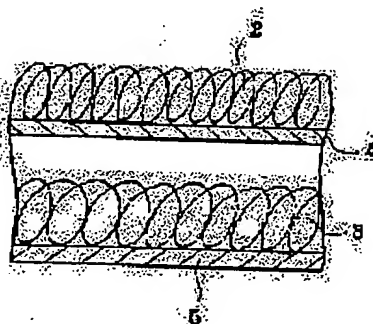
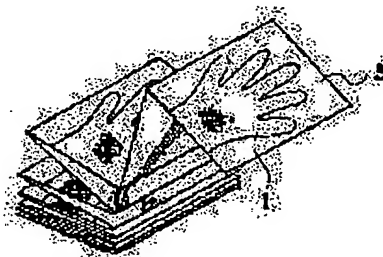
(72)Inventor : ISHITA KIYOSHI

(54) WET TISSUE WITH SHAPE OF BAG

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To avoid the contact of an impregnated liquid agent and fingers with each other by constituting one surface of a bag-shaped matter, which allows the fingers to be inserted by opening one edge, of a liquid agent impregnating sheet and making the inner side of the liquid agent impregnating sheet water proof.

SOLUTION: A wet tissue 1 is obtained by superimposing the liquid agent impregnating sheet 2 and a bag forming sheet 3 in a non-adhered state and mutually joining the periphery excepting for one edge is to form a bag-shape. In addition, the inner side of the liquid agent impregnating sheet 2 is formed to be nonpermeable with respect to a liquid agent by a water proof sheet 4, etc. The wet tissue 1 made like this is carried on a carry sheet 5 and produced with the carry sheet 5 or folded for packaging and selling to form the wet tissue to be packaged easily. Then, in the state of carrying the wet tissue on the carry sheet 5, the fingers are inserted to the wet tissue 1 to detach from the carry sheet 5 for using.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

BEST AVAILABLE COPY

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-297

(43) 公開日 平成11年(1999) 1月6日

(51) Int. CL⁶

識別記号

P I

A 4 7 L 13/19

A 4 7 L 13/19

A 4 1 D 19/00

A 4 1 D 19/00

Q

A 4 7 L 13/17

A 4 7 L 13/17

A

審査請求 未請求 請求項の数 5 F D (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平9-170952

(22) 出願日 平成9年(1997) 6月12日

(71) 出願人 000001959

株式会社資生堂

東京都中央区銀座7丁目5番5号

(72) 発明者 井下 喜好

神奈川県横浜市港北区新羽町1050 株式会社

資生堂第一リサーチセンター内

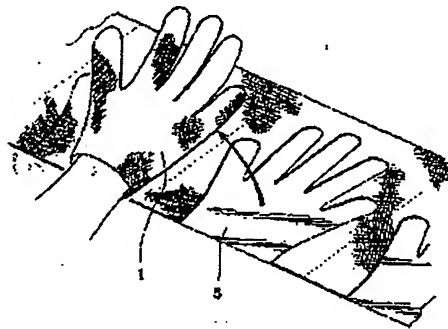
(74) 代理人 弁理士 竹内 裕

(54) 【発明の名称】 袋の形態を有するウェットティッシュ

(57) 【要約】

【課題】 袋状に形成し、使用時に手指を挿入することにより含浸された液剤と手指の接触を回避することが出来るようにしたウェットティッシュを提供せんとするものである。

【解決手段】 一辺を開口して手指を挿入可能とした袋形状に形成され、少なくとも一面を液剤含浸シートで形成し、該液剤含浸シートの内面を防水性としたことを特徴とする。



【特許請求の範囲】

【請求項1】一辺を開口して手指を挿入可能とした袋形状に形成され、少なくとも一面を液剤含浸シートで形成し、該液剤含浸シートの内面を防水性としたことを特徴とする袋の形態を有するウェットティッシュ。

【請求項2】キャリアシート上に担持したことを特徴とする請求項1記載のウェットティッシュ。

【請求項3】液剤含浸シートが、不織布であることを特徴とする請求項1又は2記載のウェットティッシュ。

【請求項4】手袋の形状に形成されていることを特徴とする請求項1乃至3のいずれかに記載のウェットティッシュ。

【請求項5】開口部を封鎖し、使用時に開放自在としたことを特徴とする請求項1乃至4のいずれかに記載のウェットティッシュ。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する分野】この発明は、袋状の形態に形成され、使用時に手を挿入して使用可能としたウェットティッシュに関する。

【0002】

【従来の技術】従来、不織布に洗淨剤、消毒剤等の液剤を含浸させたウェットティッシュは公知である。従来公知のウェットティッシュは、通常方形のシートの形態を有し、収納袋や容器から一枚ずつ手を取り出して使用する。このため、必然的にウェットティッシュに含まれた液剤と手指の接触を避けることが出来ず、液剤が手指に付着する問題があった。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】この発明は、袋状に形成し、使用時に手指を挿入することにより含浸された液剤と手指の接触を回避することが出来るようにしたウェットティッシュを提供せんとするものである。

【0004】

【課題を解決するための手段】上記課題を解決するためにこの発明が採った手段は、一辺を開口して手指を挿入可能とした袋形状に形成され、少なくとも一面を液剤含浸シートで形成し、該液剤含浸シートの内面を防水性としたことを特徴とする。

【0005】ウェットティッシュは、キャリアシート上に担持させてもよい。又、液剤含浸シートは不織布で形成するのが好ましい。更に、手袋の形状に形成してもよい。

【0006】

【発明の実施の形態】この発明の好ましい実施の形態を、以下に詳細に説明する。図において(1)は、この発明に係るウェットティッシュを示し、袋状の形態に形成され、開口から手指を挿入して使用する。該ウェットティッシュ(1)は、図4に示すように液剤含浸シート(2)と、袋形成シート(3)からなり、液剤含浸シート(2)の

内面は防水性シート(4)等により、液剤に対して非浸透性に形成される。液剤含浸シート(2)と袋形成シート(3)は、非接着状態で重畳され、一辺を残して周辺は互いに接合され袋形状に形成される。液剤含浸シート(2)には、洗淨剤、消毒剤等の所望の液剤が含浸される。含浸する液剤は、洗淨剤、消毒剤に限られるものではなく、ドライシャンプー剤、サンオイルその他適宜の液剤を使用することが出来る。使用に際しては、ウェットティッシュ(1)の開放された一辺から手指を挿入して、液剤含浸シートに含浸された液剤を所望の部位に塗布する。このとき液剤と手指の接触を回避することが出来るため、液剤が手指に付着することがなくなる。

【0007】液剤含浸シート(2)は、液剤を含浸し得る不織布、紙、布等で形成される。不織布としては、例えばレーヨン、コットン等の親水性繊維を含有する、スパンレース不織布やサマルボンド不織布等が適当である。袋形成シート(3)は、液剤含浸シート(2)と同様の不織布或は樹脂シート、紙、布等を使用することが出来る。防水性シート(4)は、液剤に対して非浸透性の樹脂シート、樹脂フィルム等が適当であるが、防水性シートによる防水に代わって、液剤含浸シート(2)の一面を防水処理してもよい。防水性シート(4)は、液剤含浸シート(2)に積層して一体化しても、或は単に重畳するのみでもよい。図示の実施形態を参照して、ウェットティッシュ(1)は手袋形状に形成されているが、方形の袋形状に形成してもよいことは勿論である。図示の実施形態では、袋状のウェットティッシュ(1)の一面のみを液剤含浸シート(2)で形成したが、袋形成シート(3)に代わって内面を防水性とした液剤含浸シート(2)で袋体の両面を形成し、ウェットティッシュの両面に液剤を含浸させたものとしてもよい。

【0008】この発明のウェットティッシュ(1)は、図面に示すように、キャリアシート(5)上に担持させて、キャリアシート(5)と共に製造し、或は包装、販売のために折り畳むのが好ましい。ウェットティッシュ(1)を手袋形状に形成した場合、個々に独立した形態では、包装や使用時の取出に不便であるが、キャリアシート(5)上に担持させ、図2、3に示すキャリアシート(5)を折り畳むことにより、ウェットティッシュ(1)を包装し易い形態にすることが出来ると共に、図5～7に示すようにキャリアシート(5)上に担持させた状態でウェットティッシュ(1)内に手指を挿入してキャリアシート(5)から取り外して使用することが可能となり、使用時に含浸された液剤に手指が触れるのを回避するのが容易となる。開口部をヒートシール又は粘着剤等で封鎖しておき、液剤を不織布に含浸させる際及び保管時に、液剤が袋形状の内面に付着するのを防止することが好ましい。使用する時は、当該封鎖部分を切り開いて開口部を形成させる。

【0009】この発明のウェットティッシュ(1)をキャ

リーシート(5)上に担持させて製造する一つの好ましい製造法としては、例えばポリエチレンテレフタレート(PET)のキャリアシート(5)上に不織布、防水性シート、不織布を順次積層し、キャリアシート(5)以外の素材を所定の形状に熱接着しつつ溶断して、図2、3に示すような形態に形成する。ウェットティッシュ(1)の開口された一辺をキャリアシート(5)の一辺と一致させると共に、図5に示すようにキャリアシート(5)の一辺を不織布と防水性シートとの間に折り込んで、ウェットティッシュ(1)内への手指の挿入を容易とし、液剤が手指に附着しないようにする。製造後、最外部に位置する不織布に所望の液剤を含浸させる。使用に際しては、図6に示すようにキャリアシート(5)の折り返しにより分離された不織布と防水性シートとの間に手指を挿入して、キャリアシート(5)から引き剥がす。

【0010】

【発明の効果】この発明によれば、含浸した液剤で手指*

*を汚すことなくウェットティッシュを使用することが可能となる。

【図面の簡単な説明】

【図1】この発明に係るウェットティッシュの斜視図

【図2】キャリアシートに担持し包線のために折り畳んだ状態を示す斜視図

【図3】キャリアシートに担持した平面図

【図4】断面図

【図5】図3A-A'線に沿った断面図

【図6】手指を挿入した状態の断面図

【図7】キャリアシートから分離した状態の断面図

【符号の説明】

(1)ウェットティッシュ

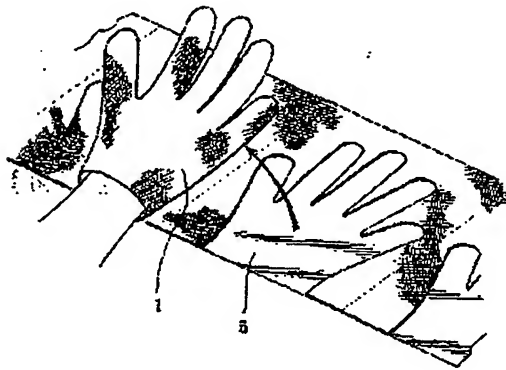
(2)液剤含浸シート

(3)袋形成シート

(4)防水性シート

(5)キャリアシート

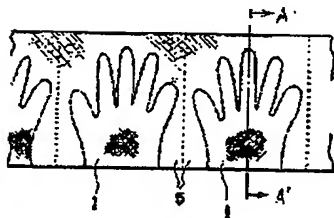
【図1】



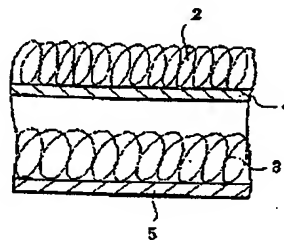
【図2】



【図3】



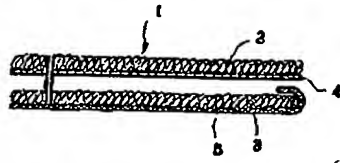
【図4】



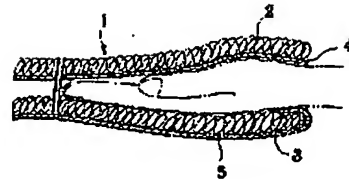
(4)

特開平 11-297

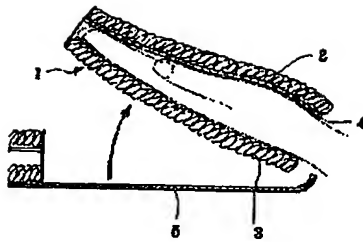
【図5】



【図6】



【図7】



THIS PAGE BLANK (USPTO)